

田村地方在宅医療・介護連携支援センター協力機関 田村地方の包括支援センターからのお知らせ

社会福祉法人 田村市社会福祉協議会 田村市地域包括支援センター

田村市大越町上大越字古川97

田村市地域包括支援センターでは、『ふれあいカフェひまわり(オレンジカフェ)』を毎月大越行政局で開催しています。ですが、カフェまでなかなか足を運べない、という方のために、昨年からは地域に出向いて出張カフェを開催しています。今年の出張カフェ第1弾は3月12日(水)に、大越町の早稲川多目的センターで開催いたします。今後、うちの地域でも開催してもらいたい!という要望がございましたら、田村市地域包括支援センターまでご相談ください。

オレンジカフェとは

お子様から高齢の方まで、どなたでも気軽に参加することができ、認知症について知る、学ぶ、考えることができる場です。お茶を飲みながら情報交換や交流を通して、新たな出会いや地域とのつながりの場となっています。

受付時間

◎月～金 8:30～17:30

◎土 8:30～12:30(祝日は除く)

電話:0247-68-3737 FAX:0247-68-3939
Email:tamuraishoukatsu@vesta.ocn.ne.jp



田村市ふねひき地域包括支援センター

田村市船引町船引字小沢川代 89-1

受付時間

◎月～金 8:30～17:30(祝日除く)

◎土 8:30～12:30(祝日除く)

電話 0247-73-8762

FAX 0247-73-8763

新しい職員も加わり、6人体制で地域の高齢者やその家族の様々な相談を受け付けております。令和7年度は、田村市認知症施策「チームオレンジ」の立ち上げを予定しており、ふねひき地区は、包括支援センターで運営するオレンジカフェを拠点にチームオレンジを立ち上げる予定です。「オレンジカフェ あがらんしょ」は毎月

(4・5月以外)第3火曜日の午後2時～3時30分に開催しております。健康体操、健康講話をはじめ、和気あいあいと手作りお菓子を作るなど、多種多様なテーマで行っています。オレンジカフェは、認知症の人やその家族、地域の人など、どなたでも自由に参加できる「集いの場」です。予約は不要、参加費(お茶代)100円です。お気軽にご参加下さい。



社会福祉法人 三春町社会福祉協議会 三春町地域包括支援センター

田村郡三春町字南町1 三春町福祉会館1階

三春町では、町民の皆様に向けて「認知症サポーター養成講座」を行っております。令和6年12月7日の開催においては、子供から大人まで幅広い年齢層の方に参加者していただきました。講義の他に寸劇を行い、認知症に対する理解を深める場と

なりました。「認知症サポーター養成講座」を開講したい団体・企業・自治会等に対し、講師を無料で派遣しています。また、健康、介護、福祉など、その他の内容においても、出前講座を行っておりますので、是非お気軽にご相談ください!



受付時間 電話 0247-62-8586
◎月～金 8:30～17:15(祝日除く) FAX 0247-62-8640

社会福祉法人 小野町社会福祉協議会 小野町地域包括支援センター

田村郡小野町大字小野新町字品ノ木111

おのまちオレンジカフェの開催

小野町地域包括支援センターでは、認知症の方、ご家族、認知症予防に興味のある方など、地域の方が気軽に交流できるオレンジカフェ(認知症カフェ)を開催しています。令和6年度は、7月・9月・11月に開催し、多くの方に参加いただきました。昔のポス

ターを眺めたり、季節を感じる工作を行ったり、子供達の交流もありました。参加された方からは「久しぶりに笑った。」「外に出ることが認知症予防だね。」と感想が寄せられています。次年度は開催を増やし、さらに多くの方に参加いただけるよう取り組んでいきたいと思っております。



受付時間 電話 0247-72-2128
◎月～金 8:30～17:15(祝日除く) FAX 0247-61-6102

電話 0247-72-2128
FAX 0247-61-6102

発行 田村地方在宅医療・介護連携支援センター

令和7年2月25日発行 第8号

〒963-3401 福島県田村郡小野町大字小野新町字品ノ木123番地 医療法人慶信會石塚醫院(田村医師会事務局)1階
FAX 0247-72-3493 TEL 0247-72-2161 ※電話番号は田村医師会事務局と共通

No.08

第8号

TAKE FREE

田村地方在宅医療・介護連携支援センター センターだより

1 NEWS

多職種連携スキルアップ研修会を開催いたしました

2024年9月26日 演題 / 指定難病 ～よりよきサポートのために～

(講師) 福島県中保健福祉事務所健康増進課 安齋 さや香氏

指定難病への理解を深め地域住民へのサポート体制を強化することを目的として、田村地方医療・介護連携支援センター、田村地方介護支援専門員連絡協議会と共催で指定難病研修会を開催いたしました。

田村医師会、地域包括支援センター職員・在宅医療・介護従事者、介護支援専門員・歯科医師会、薬剤師会、自治体担当職、医療機関職員約40名が参加しました。終了後質疑応答も行われました。今後も一人でも多くの方に指定難病への正しい知識を共有していただき、地域ぐるみのサポート体制を構築していくことの重要性を学ばせていただきました。当日勤務のために参加できなかった方のために講演の様子が約1か月YouTube配信されました。

2024年12月17日 演題 / 終末期・看取りについて

(講師) 伊達市保原地域包括支援センター社会福祉士・主任介護支援専門員 森 美樹氏

高齢化社会の中で国・県・各自治体で地域包括ケアシステム推進事業が行われており、このシステムの要となる多職種連携の取組の現場から終末期と看取りについて学びたいというご意見が多数寄せられたことをうけ研修会を開催いたしました。講演では「いよいよのときに、慌てずに本人の意思を尊重したお見送りをするために私達専門職に欠かせない視点」を基本的なテーマとして「人生会議(ACP:アドバンス・ケア・プランニング)」の重要性、取り組みにあたっての個人の主体性、十分な配慮の必要性などをわかりやすくお話いただきました。自分たちの職業倫理の色めがねで見えてしまわないよう多職種による視点が必要であること、いつも「本人だったらどう考えるのだろうか?」と自分に問う姿勢がACPの出発点であり終着点であることなど、様々な専門職の立場から多くを学ぶ機会となりました。開催後1か月間YouTube配信をいたしました。

本研修会関連サイト

① 難病情報センターのご案内

② 厚生労働省指定難病サイト



関連書籍

- ・指定難病ペディア2019 (日本医師会生涯教育シリーズ) 単行本
- ・看護・介護のための指定難病 単行本(ソフトカバー) - 日本医学出版
- ・快をささえる 難病ケアスターティングガイド 単行本 医学書院

本研修会関連サイト

① 日本医師会ACPサイト

② 厚生労働省サイト(PDF)

人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン解説編



関連書籍

- ・ACPの考え方と実践エンドオブライフ・ケアの臨床倫理 東京大学出版会
- ・『ACP入門 人生会議の始め方ガイド』【介護の仕事に役立つ本】 日経メディカル
- ・まるっと! アドバンス・ケア・プランニング 南山堂

准看護師資格取得の勧め ～福島県医師会から介護現場の皆様へメッセージ～

令和7年2月3日に福島民報に掲載された記事(県内医師会立准看護師養成所の今後に関する検討会座長・県医師会常任理事の清原尚先生寄稿)の中に准看護師資格を取得することが介護現場において役に立つかについて述べられていました。

現在、介護士として働いている方は准看護師資格を取得することで、介護士として法律上許されていない行為(例えば、投薬補助や医療器具の使用など)が可能になります。資格の取得で介護現場での役割が広がり、より充実したケアを提供できるようになりました。准看護師資格は、県内7つの准看護師養成校に2年学ぶことで取得することができますが、公的職業訓練

ハロートレーニングという制度もあり、この制度を利用することで、未経験者でも医療の基礎知識を学びながら准看護師資格の取得を目指すことができます。また訓練期間中には経済的支援を受けられる場合もあり、安心して学べる環境が整っています。詳しくは、最寄りのハローワークまでお問い合わせください。新たなキャリアへの挑戦を、今こそ始めてみませんか。